

# 1. 2021年度 事業報告

## 【1】広島港の利用促進に関する活動

- ① 国内外ポートセールス活動
  - ・ 広島港振興協会主催の「広島港セミナー」が、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、Web形式で開催された。当会員も多数参加し、広島港のPRを行った。(開催日:2月3日, Webアクセス件数:約200件)
  - ・ 本年度も東京会場での開催は見送った。
- ② 関係諸機関との連携協調
  - ・ 新型コロナウイルス感染拡大が長期化し、約2ヵ年 当会主催の連携協調イベント中止を余儀なくされた。しかしながら、関係諸機関 顧問交代の折には 都度 当会活動状況等の説明を行い、継続した連携をお願いしてきた。
  - ・ 上述活動もあり、コロナ感染拡大防止対策(緊急事態宣言,まん延防止等重点措置など)が解除されているタイミングを計り、顧問である広島県 土木建築局 総括官(空港港湾) 内藤孝様にご講演いただくことができた。(参加者:約30名)

## 【2】研修会等の開催、参加

- ① 研修会/講演会への参加
  - ・ 広島県ほか関係官庁、諸団体が開催する研修会,Web会議等へ積極的に参加した。
- ② 海外トップ研修会の企画開催
  - ・ 研修候補地の新型コロナウイルス感染,対策状況等を旅行会社へ確認し、開催の検討を行ったが、候補地の感染拡大も著しく、中止をやむ無しと判断し、開催を見送った。

## 【3】港湾関係合同行事の開催

- ① 広島港合同賀詞交歓会の開催
  - ・ 港湾団体と広島港関係行政による賀詞交歓会について、開催に向けた諸検討を繰り返したが、広島県からの新型コロナウイルス感染拡大防止対策の要請等もあり、中止をやむ無しとした。
- ② 三団体合同カープ観戦ツアーの開催
  - ・ 広島県倉庫協会, 広島地区港運協会, 広島みなと振興会の3団体共催の野球観戦は、コロナ禍にあり見送った。

## 【4】広島港の振興及び啓蒙活動

- ① 「港湾研究会」の開催
  - ・ 毎年、毎月第2水曜日(14時00～)開催を定例とし、検討案件を会員及び関係官庁, 諸団体から幅広く募り、多岐にわたり検討を行っており、コロナ感染拡大防止対策(緊急事態宣言,まん延防止等重点措置など)が解除されているタイミングを計り、4回開催することができた。(2020年度開催:1回)
  - ・ 港湾研究会開催が困難なタイミングについては、継続して行政(広島県)からの情報展開要望案件等を E-mailを利用し会員皆様へ情報配信を行った。

- ② 「広島みなとフェスタ」への参画
  - ・ 実行委員会を退会し、参画を中止した。
- ③ 安全啓蒙・地域交流活動
  - ・ 広島市立広島特別支援学校の教員と生徒,PTAとの安全啓蒙・地域交流会において、2019年度はトレーラー試乗会を開催し、次年度にコンテナターミナル内の見学会を計画していた。しかしながら、2021年度もコロナ禍にあり開催を見送った。
- ④ 広島みなと振興会ホームページ
  - ・ ホームページを活用し、当会活動実績の情報公開を行った。
- ⑤ 広島港長期構想計画の実行
  - ・ 2018年9月 広島県ホームページに公開された「広島港長期構想計画」に対し、広島県と適宜実行状況を確認し、当会の要望(出島埋立地区の早期使用可能な整備要請等)を示した。